

## <親権者変更調停を申し立てる方へ>

### 1 概要

離婚の際に未成年の子どもがいる場合には、父母の合意で親権者を定めることができますが、離婚後親権者を変更しようとするときは、必ず家庭裁判所の調停又は審判によらなければなりません。

親権者の変更は、子どもの健全な成長を助けるためのものですから、両親の円満な話し合いで解決することが望ましく、まず調停での話し合いを行うのが原則です（親権者が死亡、あるいは行方不明である等調停に出席できない場合その他特に事情のあるときには、調停を経ずに親権者変更の審判を申し立てることができます。）。

調停手続では、申立人（あなた）が親権者の変更を希望する事情や相手方の意向、今までの養育状況、双方の家庭状況、子どもの意向等について事情を聴いたり、必要に応じて資料を提出してもらうなどして、子どもの福祉にかなうよう話し合いを進めます。

なお、話し合いがまとまらず調停が不成立になった場合には、自動的に審判手続が開始され、裁判官が一切の事情を考慮して審判をすることになります。

### 2 申立てに必要な費用

- 収入印紙・・・対象となる子ども1人につき1200円
- 手続用の郵便切手・・・140円×1枚、94円×1枚、84円×6枚、10円×5枚、2円×5枚  
合計798円分

### 3 申立てに必要な書類

- 申立書3通  
→ 申立書は、相手方に送付しますので、裁判所用、相手方用、申立人（あなた）用の控えの3通を作成してください。
- 事情説明書1通
- 送達場所の届出書1通
- 進行に関する照会回答書1通
- 申立人、相手方及び子どもの戸籍謄本（全部事項証明書）各1通  
→ 戸籍謄本等は3か月以内に発行されたものを提出してください。

### 4 調停手続に必要な書類等の提出方法等

- ・ 調停では、必要に応じて、自分の主張を裏付ける資料等を提出してもらうことがあります。調停委員会の指示に従って提出してください。
- ・ 書類等を提出する場合には、A4サイズ（今お読みいただいている書面のサイズです。）で裁判所用のコピー1通を提出するとともに、調停期日にはご自分用の控えを持参してください（提出する書類のコピーは、①A4サイズ縦の用紙に、②とじしろとして左側を3センチメートル以上あけて作成してください。）。

相手方に交付したい書類等を提出するときは、裁判所用及び相手方用としてコピー2通を提出するとともに、調停期日にはご自分用の控えを持参してください。

注 書類等の中に相手方に知られたくない情報がある場合で、家庭裁判所に見せる必要がないと考える部分は、マスキング（黒塗り）したものを提出してください（ただし、原本には手を加えず、コピーをマスキングしてください。）。（裁判所用及び相手方用のコピー2通全て同様に作成し

てください。)

注 個人情報保護の観点から、個人番号（マイナンバー）が記載されていない文書の提出をお願いいたします。具体的には、

- ① マイナンバーの記載のない文書の原本が取得可能なもの（源泉徴収票等）については、マイナンバーの記載のない文書をご提出いただき、
- ② マイナンバーの記載のない文書の原本が取得できないもの（確定申告書等）もしくはマイナンバーが記載された文書を取得してしまった場合については、マイナンバー記載部分をマスキング（黒塗り）した文書のコピー（後日原本確認が必要になる場合があります。）をご提出いただくよう、よろしくお願いいたします。

## 5 提出された書類等の閲覧・謄写（コピー）

申立人の提出した申立書については、相手方に送付されます。それ以外に調停手続中に一方の当事者が提出した書類等については、他方の当事者は、閲覧（記録を見る手続）・謄写（記録をコピーする手続）の申請をすることができます。この申請に対しては、裁判官が、円滑な話し合いを妨げないか等の事情を考慮して、許可するかどうか判断します。

しかし、調停が不成立となって審判手続が開始された場合、調停手続中に提出された書類等のうち、親権者を変更するかどうかの判断に必要なものは、除外事由に当たらない限り、閲覧・謄写の申請をすれば許可されることになります。

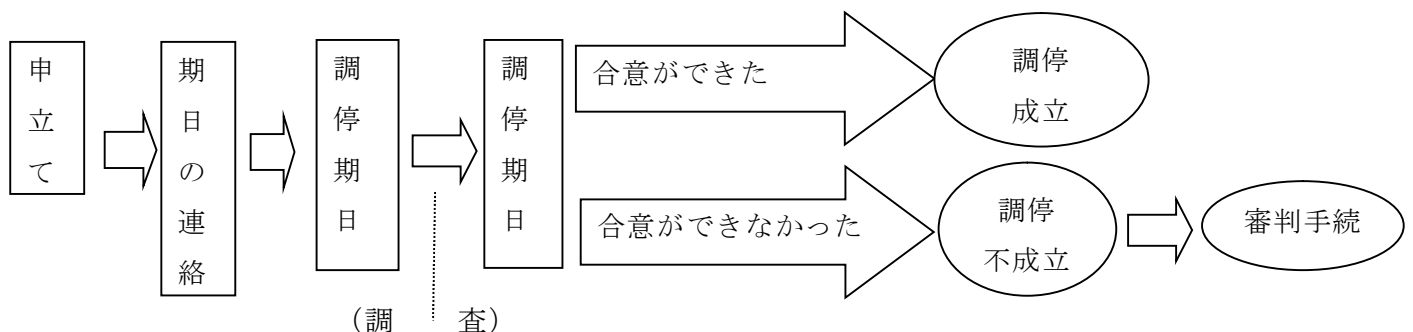
## 6 申立先

相手方の住所地を管轄する家庭裁判所となります（ただし、相手方との間で、調停を行う家庭裁判所について合意ができており、申立書と共に管轄合意書を提出していただいたときには、その家庭裁判所で調停をすることができます。）。

## 7 調停の進め方について

調停の流れは下図のとおりです。調停は平日に行われます。1回の調停時間はおおむね1時間程度です。調停では、それぞれ別々の待合室でお待ちいただき、交互又は同時に調停室に入ってもらって、調停委員が中立の立場で、それぞれのお話をお聞きしながら話し合いを進めていくことになります。

なお、必要に応じて、家庭裁判所調査官が調停期日に立ち会ったり、調停期日の間に未成年の子どもの意向や状況等に関する調査を行う場合もあります。



## ○ 提出先（送付先）

〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目 札幌家庭裁判所 家事受付係（TEL 011-221-7281）

(申立人用)

※事件の種類により提出していただく書類は異なります。

## 注 意 書

- 1 申立書は、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、その写しを、相手方に送付します。提出の際には、相手方への送付用として申立書の写し(コピー)も提出してください(写しは、相手方の人数分だけの部数が必要となります。)。上記のとおり、申立書の写しを相手方に送付しますので、申立人の住所を相手方に知られると、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある場合は、申立書には相手方に知られてもよい場所(同居中の住所など)を記載してください(ただし、裁判官の判断により、現在の住所の申告を求めることがあります。)。相手方の住所は相手方が実際に住んでおられる住所を記載してください。
- 2 事情説明書は、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。その前提で、書くことができる範囲で記入してください。
- 3 送達場所の届出書は、裁判所から書類を送付する場所を記載してください。申立書の記載の住所と別の場所にすることも可能です。なお、相手方に知られることであなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのあるような場所は、できるだけ避けてください。どうしてもその場所しかない場合は、必ず、「非開示希望の申出書」欄を記載してください。
- 4 進行に関する照会回答書は、調停を円滑に進めるために記載していただきます。裁判所限りの書面ですので、相手方に見られることはありません。
- 5 その他の提出された書類については、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。提出される書類で、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある情報は、自分でその部分を黒塗りするなどして読み取れないようにしてコピーしたものを提出してください。また、自ら作成する書面に、そのような情報を記載しないようにしてください。
- 6 マスキングもされず、非開示を希望する旨の書面も添付されていない書面について

て、裁判所が、相手方に知られるとあなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある情報が記載されているかを確認することはありませんし、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。そのような情報は自分で管理し、相手方に知られることのないように十分注意してください。

- 7 申立人又はその法定代理人を特定する事項については、相手方に知られることにより社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれがある場合、秘匿申立て又は非開示希望の申出をすることができます。秘匿申立てには、別途手数料等が必要となります。

秘匿申立て又は非開示希望の申出について、詳しくは書記官にお尋ねください。

# 事情説明書（親権者変更）（申立人用）

書式3-親

この書類は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には具体的な理由・事情等を記入して、申立ての際に提出してください。  
 なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

1 今回あなたがこの申立てをした「きっかけ」「動機」を書いてください。																			
2 調停ではどんなことで対立すると思われ ますか。 (該当するものにチェックしてください。複数可。) 3 申立人と相手方の現在の連絡状況について記入してください。	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 親権者を変更することそれ自体 <input type="checkbox"/> 未成年者との面会交流 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 未成年者にかかる費用の負担 )																	
4 未成年者に、親権者を変更することについて話をしていますか。	<input type="checkbox"/> 話をしていない。 話をした人 <input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 申立人及び相手方一緒に <input type="checkbox"/> その他 ( ) 未成年者の反応 ( )																		
5 現在未成年者の状況で心配なことはありますか。 (該当するものにチェックしてください。複数可。) 6 それぞれの同居している家族について記入してください(本人を含む)。 ※申立人と相手方が同居中の場合は申立人欄に記入してください。	<input type="checkbox"/> 特にない。 <input type="checkbox"/> ある。 <input type="checkbox"/> 健康面(病気がちになった等) <input type="checkbox"/> 情緒面、精神面(情緒不安定等) <input type="checkbox"/> 登園、登校面(登校を渋っている等) <input type="checkbox"/> 交友関係(友人とのトラブル等) <input type="checkbox"/> その他 ( )																		
7 それぞれの収入はどのくらいですか。	申立人(あなた) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 25%;">氏名</th> <th style="width: 10%;">年齢</th> <th style="width: 10%;">続柄</th> <th style="width: 15%;">職業・学年</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	氏名	年齢	続柄	職業・学年					相手方 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 25%;">氏名</th> <th style="width: 10%;">年齢</th> <th style="width: 10%;">続柄</th> <th style="width: 15%;">職業・学年</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	氏名	年齢	続柄	職業・学年					
氏名	年齢	続柄	職業・学年																
氏名	年齢	続柄	職業・学年																
月収(税込み) 約 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助あり <input type="checkbox"/> 生活保護等受給	月収(税込み) 約 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助あり <input type="checkbox"/> 生活保護等受給																		

令和 年 月 日 申立人 \_\_\_\_\_ 印



## 進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には具体的な事情等を記入して、申立ての際に提出してください。  
 なお、これは相手方に見せることのない書面です。

平日昼間に連絡のとれる電話番号	【携帯】 <span style="float: right;">—</span> 【自宅】 <span style="float: right;">—</span> あなたに電話をかける際には <input type="checkbox"/> 携帯優先 <input type="checkbox"/> 自宅優先
1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合はまともらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> ない。(その理由をチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じらと思う。 (理由等があれば、記載してください。) <input type="checkbox"/> 応じないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 (理由等があれば、記載してください。) <input type="checkbox"/> 進められないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。
4 この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。
5 相手方の暴力等がある場合には、記入してください。	1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る・暴言をはく <input type="checkbox"/> 物を投げる <input type="checkbox"/> 殴る・蹴る <input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す (1) それはいつ頃のことですか。 ----- 頃 から ----- 頃 まで (2) 今までにどのくらいありましたか。 ----- 回 2 相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (ケガや症状等の程度 ) 3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定はない <input type="checkbox"/> 申し立てる予定である <input type="checkbox"/> 申し立てたが、まだ結論はでていない <input type="checkbox"/> 申し立てたが、認められなかった <input type="checkbox"/> 認められた ※保護命令書の写しを提出してください。 4 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるう心配はない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるう心配がある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。
6 調停期日で都合の悪い日等があれば書いてください。	申立人の <input type="checkbox"/> 希望日 <span style="float: right;">曜日 午前・午後</span> <input type="checkbox"/> 都合の悪い日 <span style="float: right;">曜日 午前・午後</span> (すでに都合が悪いことがわかっている日→ ) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 相手方の <input type="checkbox"/> 希望日 <span style="float: right;">曜日 午前・午後</span> <input type="checkbox"/> 都合の悪い日 <span style="float: right;">曜日 午前・午後</span> (※分からなければ記載しなくてもかまいません。)
7 裁判所に配慮を求めることがありますか。	

※当裁判所では、調停期日に当事者双方に同席していただいて手続の説明を行う場合があります。相手方と同席することに支障があるときは7にその旨を記載してください。

# 書類の提出とマスキング方法

## 提出書面の種類

あなたの主張、言い分、意見や希望などをまとめた「主張書面」やあなたの主張や言い分を裏付ける「資料」があります。あなたから提出される「主張書面」や「資料」については、相手からの希望があると、相手にお見せしたり(「閲覧(えつらん)」と言います。)、コピーを認める(「謄写(とうしゃ)」と言います。)こととなりますので、ご注意ください。

## 主張書面を提出するときの注意点

### 記載例

令和〇年(家イ)第〇〇〇〇号

令和〇年〇月〇日

主 張 書 面

札幌家庭裁判所 調停〇係

宛

(氏 名) 印

1 離婚について

.....  
.....  
.....

2 子の親権について

.....  
.....  
.....

3 財産分与について

.....  
.....  
.....

A4の用紙に記載してください。

ここに、主張(言い分・意見・希望など)を記載してください。

相手に見られることで社会生活を営むのに著しい支障が生ずる情報は記載しないでください。

この部分は、としろとして3センチ程度空けておいてください。

## 資料(証拠)を提出するときの注意点

- 主張の裏付けになる資料(証拠)は、**原本は提出しないで、必ずコピーを提出してください。**
- 資料の原本の大きさに関わらず、A4の用紙にコピーをとってください(余白が大きくてもかまいません。)。資料の原本がA4より大きい場合は、A3の用紙にコピーをとってください。

### ●【重要!】

提出する書面は、相手に渡すことを前提に作成してください。

相手に見られることで社会生活を営むのに著しい支障の生ずる情報が記載されている場合、マイナンバーが記載されている場合は、**コピーを取り、コピーの該当部分を黒く塗りつぶした上で再度コピーして、読めない状態にしてから提出してください。**※単にマスキングテープを貼付しただけのものは提出できません。※原本には手を加えないでください。

裏面もご覧ください



# マイナンバーにご注意ください！

- ① **確定申告書・源泉徴収票・住民票はありますか？あればマイナンバーが書かれていないか、もう一度確認してください。**
- ② **裁判所はマイナンバーを受け取れません。マイナンバー部分を黒くぬったものをコピーして提出してください。**

確定申告書の1枚目のここにマイナンバー！

税務署長 令和 年 月 日 令和 0 年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B FA2200

住所 〒 個人番号 生年月日

フリガナ 氏名

職業 屋号・番号 世帯主の氏名 世帯主との続柄

種類 青色 分離 国出 損失 確定 特農 特農 整理番号 電話番号 自宅・勤務先・携帯

事業種別 (単位は円) 課税される所得金額 (29-30) 又は第三表上の30に対する税額 又は第三表の31

第一表 (令和二年分以下)

確定申告書の2枚目のここにマイナンバー！

配偶者や親族に関する事項 (20~23)

氏名	個人番号	続柄	生年月日	障害者	国外居住	住民税	その他
配偶者		配偶者		障害	国外	年課	別居 調整
明大昭平令		明大昭平令		障害	国外	年課	(16) 別居 調整
明大昭平令		明大昭平令		障害	国外	年課	(16) 別居 調整
明大昭平令		明大昭平令		障害	国外	年課	(16) 別居 調整
明大昭平令		明大昭平令		障害	国外	年課	(16) 別居 調整
明大昭平令		明大昭平令		障害	国外	年課	(16) 別居 調整

事業専従者に関する事項 (55)

事業専従者の氏名	個人番号	続柄	年月日	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与(控除)額
		明大昭平			
		明大昭平			
		明大昭平			

住民税・事業税に関する事項

住 非上場株式の少数配当を含む配当所得の金額 非居住者 相当割額控除額 株式等譲渡所得割額控除額 給与、公的年金等以外の所得に係る住民税の徴収方法 (特別徴収 自公不納付 (特別徴収対象)) 都道府県、市区町村への寄附 (特別徴収対象) 共同基金、日赤 その他の寄附 都道府県 条例指定寄附 市区町村 条例指定寄附

証明書など申告書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼

## 令和 年分 給与所得の源泉徴収票

(個人番号)

(役職名)

(フリガナ)

名

支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収額

除 (特別) 除の額

生命保険料の控除額 地震保険料の控除額 住宅借入金等特別控除額

源泉徴収票のここにマイナンバー！

## 住民票

世帯主 山田 太郎

住所 ○○市○○区○○ ○○丁目○○番地○○号

氏名 山田 太郎

1 個人番号 123456789012 住所を定めた日

住民票コード 11234567890 届出をした日

転入前住所 ○○県○○市○○区○○丁目○○番地○○号

本籍 ○○県△△市△△区△△丁目△△番地△△号

備考

住民票のここにマイナンバー！